

をしていると、知識の広がり課題を捉える視点がとても大きくなったことを感じました。特に最後に実習をさせていただいた事務局では、それまでの実習をつなぐ視点をいただけたようです。知らなかった多くの制度があり、実際に運用されていること、その価値と問題点、地域との繋がりの大切さ、必要とする人への情報提供の必要性、当事者組織の大切さと事業を運営していく組織の意味と難しさなどに触れる話をたくさんしてくれました。

これから就職活動をしていくことになると思いますが、事務局で経験させていただき、学ばせていただきましたことは、今後学生が自分の将来を考えたいく上での指針を提供してくれることは間違いないと思います。多くの方に

支援いただき初めての事務局実習を可能にしてくださいましたこと本当に感謝しております。われわれ教員も福祉の現場に貢献できる人材育成と研究に精進していきたいと思えます。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

おめでとう！新成人

一月十一日に開催された「二〇〇九年 大阪市知的障害者育成会 新成人を祝うつどい」において、二十三名の方が晴れやかに新成人を迎えられました。

ここでは、この日を心待ちにしてこられた保護者の方のメッセージや、ご本人の新成人の決意をご紹介します。

『振袖姿に拍手！』

時折小雪が舞う一月十一日、KKRホテル大阪に

て「新成人を祝うつどい」が開催され、スーツや振袖に身を包んだ二十三人の新成人が出席しました。

第一部式典では、ご来賓のご祝辞を頂戴した後、新成人の名前が一人ずつ呼ばれました。落ち着いた様子でお辞儀をする姿を見ながら私はずっと昔、このような式典に出席した時のことを思い出していました。

小学校の入学式では、娘の発達障害を学校は理解してくるだろうかと不安だったこと、養護学校中学位の入学式では、地域を離れたことにとまどい一つも、これからは親子共に対等の関係の友人ができると安堵したこと、そして今…名前が呼ばれるのを少し誇らしげに待っている娘の前に、二十年間の様々な出来事に想いを馳せ胸が熱くなりました。

しかしながら懐かしい思い出に浸っている時は短く、記念撮影が始まると「足を揃えて」と振袖の娘に注意を送る現実に苦笑しました。

第二部は軽食を頂きながらスマイル様の大正琴の演奏が始まり、演奏曲にちなんで「白鳥の湖」の衣装で登場されて歓声が上がりました。そして新成人達も大正琴に合わせて歌を歌い、会場は一気に和みました。

次に石橋玲子様が発言、私達も一緒に作品を作った楽しんだ後にビンゴゲームでさらに盛り上がり、名残惜しい中閉会しました。心から成長を喜んでくださる方々に見守られて迎えた成人式は本当に温かく、この上ない幸せなひとときでした。

最後になりますが、笹野

井理事長様はじめ理事・園長の皆様、職員の皆様に心よりお礼申し上げます。
(東成育成園支部 中島由紀子)

『笑顔で歌を！』

小さい時は多動で言語能力がなく反応が悪く、この子はどうなるのだろうかと心配ばかりが先に進み、とまどいながら育てました。

今回、育成会の新成人を祝うつどいに参加させて頂きまして、親子共々本当に楽しく過ごさせて頂きました。皆様きちんとスーツ姿で集合しまして、新成人も振袖姿がかわいく、また、男の子はスーツ姿がまぶしいスタイルの中で、大正琴の演奏にのりまして、新成人の人達が得意の歌を歌いました。英之も大好きなポニョを歌わせて頂きました。その後ビンゴゲ